



音楽集会 6年生

今日12日(木)は、朝から音楽集会がありました。今年度の音楽集会は、体育館で行うことにしています。集会は、音楽委員が中心となって、進行しています。

今回の集会では、6年生が音楽の時間に作った、「ボディパーカッションによるリズムアンサンブル」と合唱「翼をください」を披露してくれました。私も音楽の時間に子供たちが考えたリズムアンサンブルを見たのですが、ボディパーカッションによる様々な音色やリズムの重ね方によるよさや面白さを感じ取り、楽曲全体の構成を考えながら、息の合った表現方法に感心していました。

音楽専科の力田先生によると、基本3人グループでチャレンジさせ、グループでまずは体でどんな音が出せるかを考え、いろいろな音色を工夫したそうです。3つのパートのリズムを出し合いながら、全体のまとまりを意識し、始め方や、どのようにパートを重ねるか、また終わり方を子供たちは真剣に話し合ったそうです。右上の図にあるように、③をベースに、①と②の8拍のリズムを重ねていくというものです。今回は各学級から代表グループが、発表してくれました。子供たちは息の合った楽曲を披露してくれました。声を入れたり、足踏みで床を鳴らしたり、体全体を楽器として音楽を創りあげている姿に、全校が魅了されました。

合唱「翼をください」では、子供たちは音の重なりや強弱、歌詞など、曲を形づくっている一つ一つをかみしめながら歌ってくれました。子供たちの歌声からは、翼をひろげて心が解放されていくようなイメージを感じることができました。

最後に音楽委員会の子供から、楽器音当てクイズがあり、盛り上がりしました。

感想交流では、2年生の子供は「『👁️ 帯西グリーン』の心が伸びました。わけは、みんなで6年生の発表を聴くことができたからです。」と述べ、そのお返しとして6年生の子供は「音楽集会までにたくさん練習してきたのでうまくいったし、ちゃんと聴いてもらったからよかったです。」と述べていました。

感動を呼ぶ音楽には様々な表現手段がありますが、今回は体全体を使うという表現手段と6年生の「おもいを届けたい!」という一生懸命な姿で、会場全ての人の心を揺り動かし、「👁️ 帯西ブルー」の心を感じさせてくれました。真剣な姿というものは、本当にかっこいい!と最高学年の姿から学ばせてもらいました。

また、裏方で集会を支えてくれた音楽委員会の小さな努力の積み重ねが音楽集会の質を上げ、全校の子供たちが音楽に親しみ、音楽に対する感性を培ってくれ、感謝しています。

1 下のワークシートの①と②のパートに ♪、♪、♪、♪、♪、♪、♪、♪ のリズムを使って、8拍のリズムをつくりましょう。

ワークシート

4回くり返す

①	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪
②	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪
③	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪	♪

終わりの部分

